

勤務医に関する意識調査
報告書

平成19年 3月

社団法人 日本病院会
地域医療委員会

目 次

はじめに	1
I. 調査目的	2
II. 調査要領	2
III. 回答状況	3
調査内容	38
委員名簿	45

は　じ　め　に

以前からあった問題だが、近年になって急激に勤務医不足の進行した理由をさぐり、その対策を考える資料として「勤務医に関する意識調査」、「医師確保に係る調査」を日本病院会勤務医、病院管理者を対象として平成18年7月7日から7月28日にわたって行った。

回答は、勤務医 5,635人（勤務先病院21.1%）、病院管理者 576人（22.7%）であった。

その結果をまとめましたので、今後、医師に関する方向を考える資料としていただければ幸いです。

平成19年3月11日

社団法人 日本病院会
委員長 林 雅 人

I. 調査目的

医師の需給に関する諸課題のうち、診療科における医師の偏在や地域における医師不足が喫緊の課題として、病院勤務医から開業医へとといった医師のシフトが起きていることや、医師の間に特定の診療科や地域に行くことを避ける傾向が高まっていることなどが指摘されている。

このような状況を踏まえて、日本病院会会員病院の勤務医の意見を集約して、今後病院団体としての施策立案の参考とすることを目的に調査を実施した。

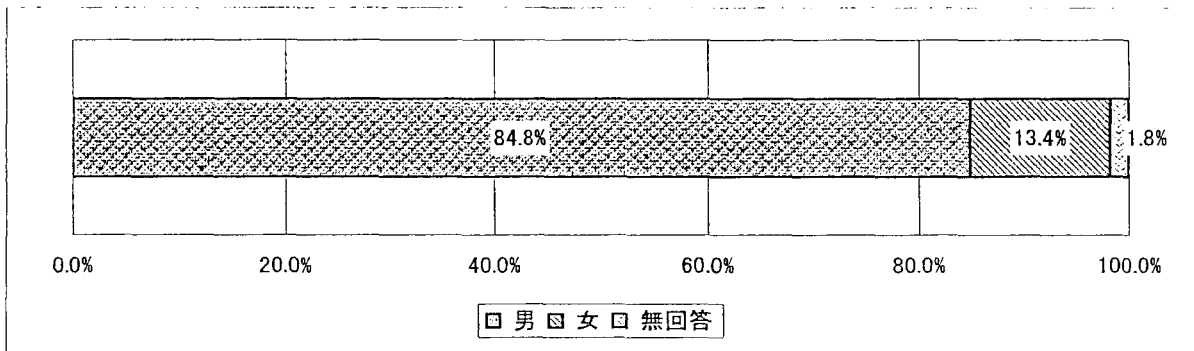
II. 調査要領

1. 調査方法 郵送による記名回答アンケート調査（平成18年7月実施）
2. 対象客体 日本病院会会員病院 2535病院
3. 調査表回収数 勤務医5635名
4. 調査内容 別紙（後掲）

Ⅲ. 回答状況

Q1 性別

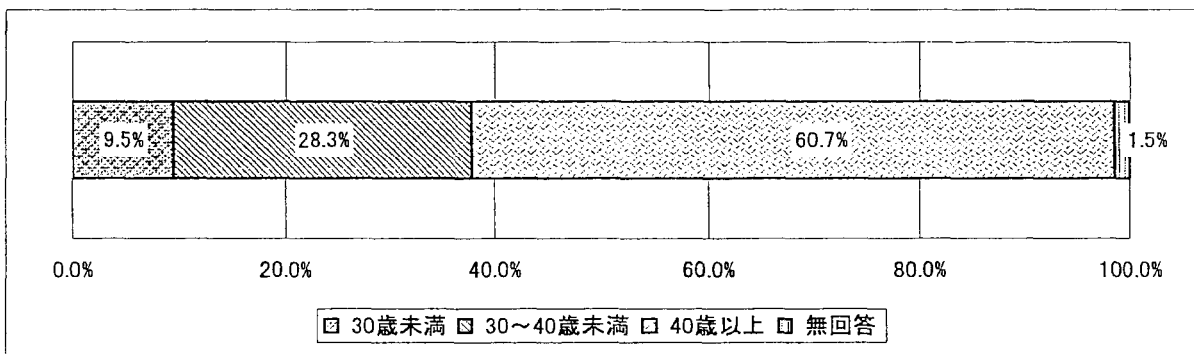
	回答数(%)
男	4,780(84.8)
女	753(13.4)
小計	5,533(98.2)
無回答	102(1.8)
計	5,635(100.0)



回答者は、男性医師が84.8%、女性医師が13.4%。

Q2 満年齢（回答記入日）

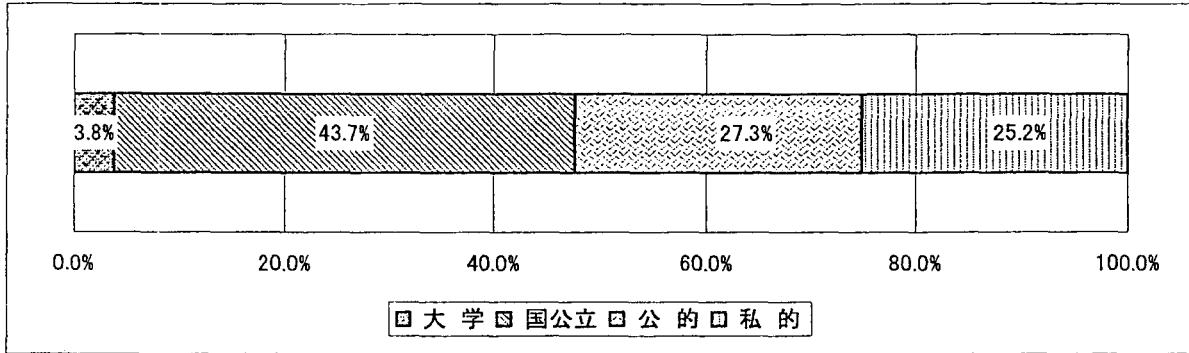
	回答数(%)
30歳未満	537(9.5)
30～40歳未満	1,594(28.3)
40歳以上	3,420(60.7)
小計	5,551(98.5)
無回答	84(1.5)
計	5,635(100.0)



回答者は「40歳以上」が60.7%と最も多く、次いで「30～40歳未満」が28.3%。

Q3 主たる勤務先（アルバイト先を除く）の開設主体は次のどれですか。

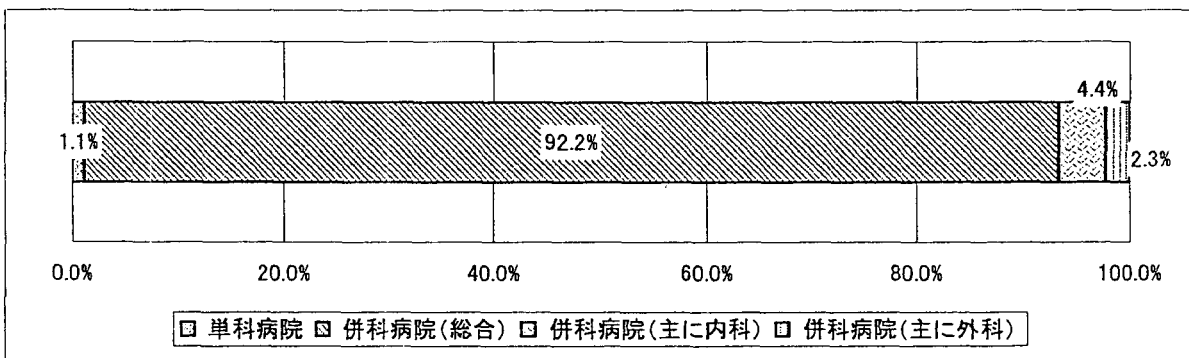
	回答数(%)
大学	216(3.8)
国公立	2,464(43.7)
公的	1,537(27.3)
私的	1,418(25.2)
計	5,635(100.0)



主たる勤務先（アルバイト先を除く）は「国公立」が43.7%と最も多く、次いで「公的」27.3%、「私的」25.2%。

Q4 勤務先の種類

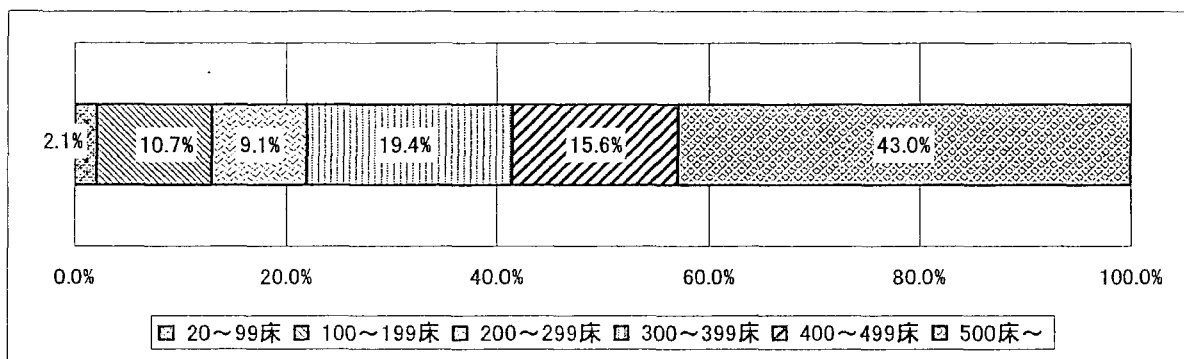
	回答数(%)
単科病院	64(1.1)
併科病院(総合)	5,194(92.2)
併科病院(主に内科)	247(4.4)
併科病院(主に外科)	130(2.3)
計	5,635(100.0)



勤務先の種類は、「併科病院（総合）」が92.2%と圧倒的に多かった。

Q5 勤務先の病床数

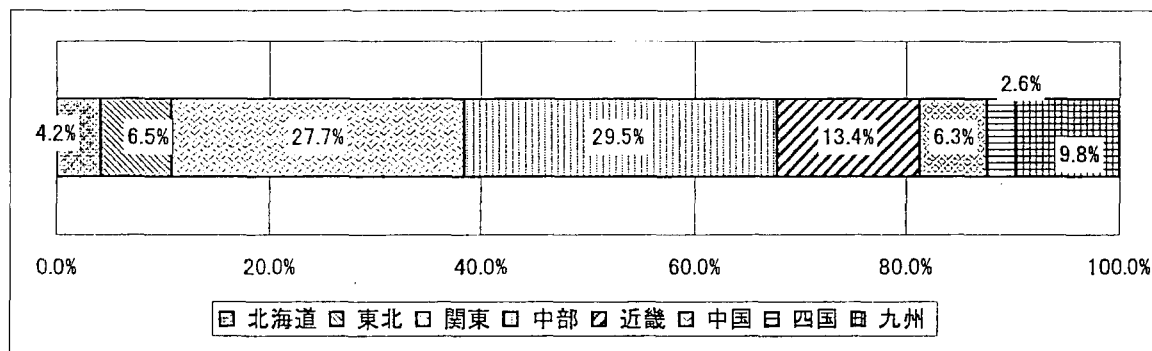
	会員病院数	回答病院数(%)	回答率	勤務医回答数(%)
20~99床	469	56 (10.4)	11.9%	119 (2.1)
100~199床	766	125 (23.3)	16.3%	605 (10.7)
200~299床	372	80 (14.9)	21.5%	514 (9.1)
300~399床	380	107 (20.0)	28.2%	1,096 (19.4)
400~499床	217	65 (12.1)	30.0%	879 (15.6)
500床~	331	103 (19.2)	31.1%	2,422 (43.0)
計	2,535	536(100.0)	21.1%	5,635(100.0)



勤務先の病床数は、「500床以上」が43.0%と最も多く、次いで「300床から399床」が19.4%、「400床から499床」が15.6%。

Q6 開設主体の地域は次のどれですか。

	会員病院数	回答病院数(%)	回答率	勤務医回答数(%)
北海道	104	17 (3.2)	16.3%	235 (4.2)
東北	152	44 (8.2)	28.9%	369 (6.5)
関東	710	143 (26.7)	20.1%	1,562 (27.7)
中部	507	147 (27.4)	29.0%	1,660 (29.5)
近畿	523	80 (14.9)	15.3%	756 (13.4)
中国	175	39 (7.3)	22.3%	355 (6.3)
四国	101	18 (3.4)	17.8%	147 (2.6)
九州	263	48 (9.0)	18.3%	551 (9.8)
計	2,535	536(100.0)	21.1%	5,635(100.0)

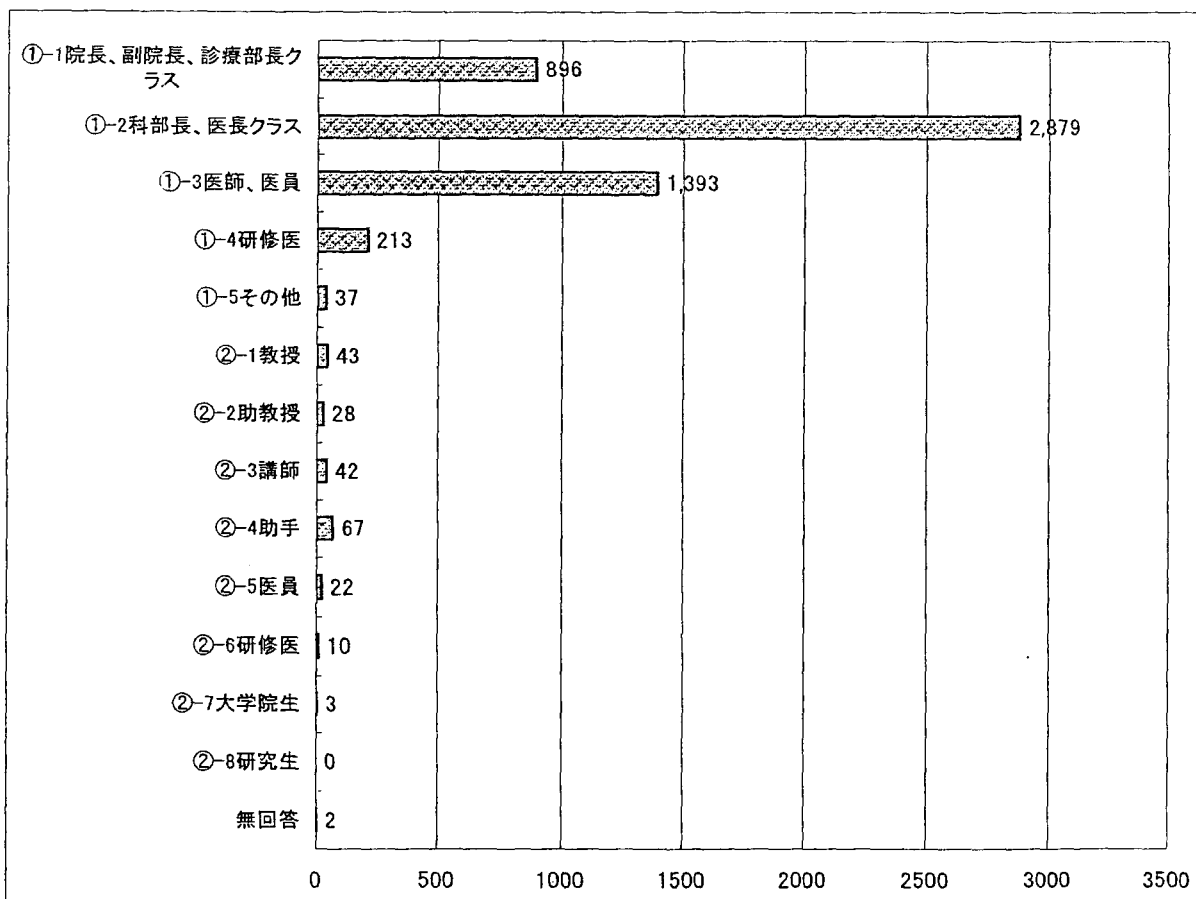


勤務先の開設主体の地域は、「中部」が29.5%と最も多く、次いで「関東」27.7%。回答率は、中部が29.0%と最も高く、東北が28.9%とほぼ同率。

Q7 現在の勤務先（アルバイト先を除く）での立場では次のどれですか。

- ①一般勤務医
- ②大学勤務医

	回答数(%)
①-1院長、副院長、診療部長クラス	896 (15.9)
①-2科部長、医長クラス	2,879 (51.1)
①-3医師、医員	1,393 (24.7)
①-4研修医	213 (3.8)
①-5その他	37 (0.7)
②-1教授	43 (0.8)
②-2助教授	28 (0.5)
②-3講師	42 (0.7)
②-4助手	67 (1.2)
②-5医員	22 (0.4)
②-6研修医	10 (0.2)
②-7大学院生	3 (0.1)
②-8研究生	0 (0.0)
小計	5,633 (100.0)
無回答	2 (0.0)
計	5,635 (100.0)

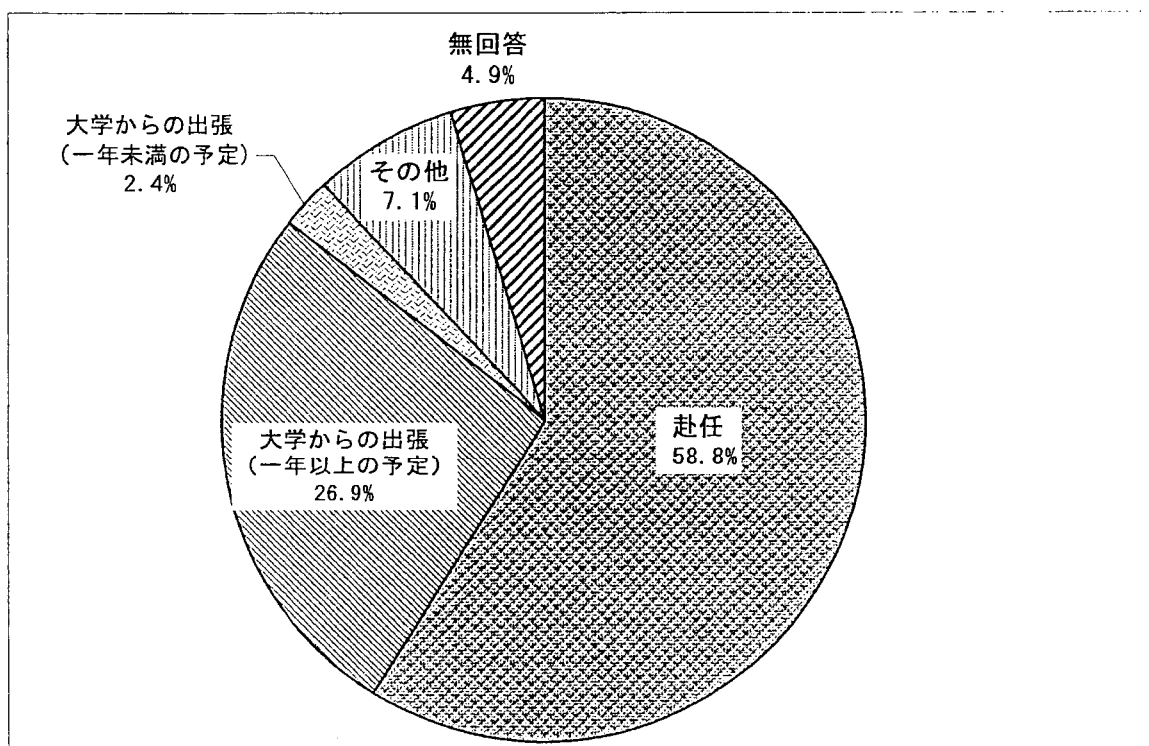


現在の勤務先の立場は、「勤務医」の「科部長・医長」が51.1%と最も多く、「院長、副院長、診療部長」15.9%と合わせて67.0%。「一般医（医師、医員）」は24.8%である。しかし、病院の規模、診療科によっては一人科部長・医長がかなり存在することを念頭におかなければならない。

Q8 Q7の「①一般勤務医」の方にお尋ねします。
現在の勤務先での立場は次のどれですか。

n=5418

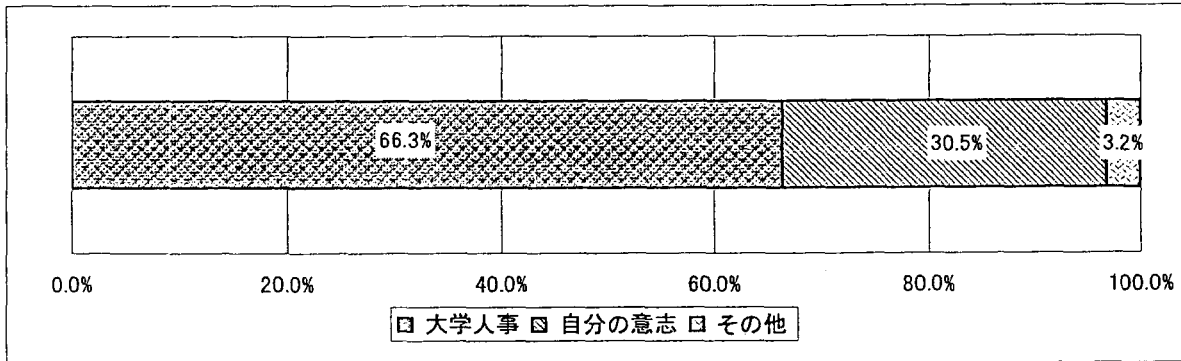
	回答数(%)
赴任	3,184(58.8)
大学からの出張(一年以上の予定)	1,457(26.9)
大学からの出張(一年未満の予定)	132(2.4)
その他	382(7.1)
小計	5,155(95.1)
無回答	263(4.9)
計	5,418(100.0)



Q. 7の「①一般勤務医」の勤務先の立場は、「赴任」が最も多かったが、前問で「部長・医長」からの回答が半数であるのに、回答者の約3分の1の29.3%が「大学からの出張」であるのは注目される。

Q9 「常勤医師」の方にお尋ねします。人事は次のどれですか。

	回答数(%)
大学人事	3,465 (66.3)
自分の意志	1,593 (30.5)
その他	167 (3.2)
計	5,225 (100.0)

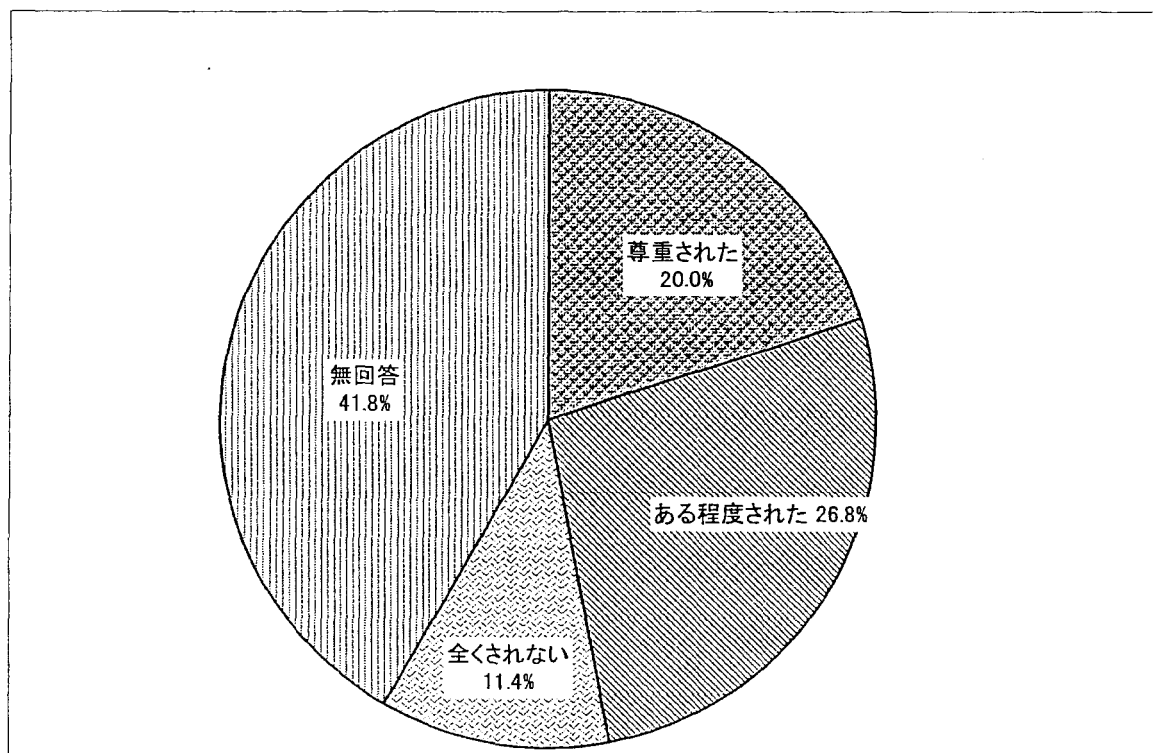


赴任人事を入れた常勤医師の人事は「自分の意志」は3分の1しかなく、3分の2は大学が何らかに関与しているものと思われた。

Q10 Q9で「大学人事」と答えた方にお尋ねします。
自分の意思が尊重されましたか。

n=3465

	回答数(%)
尊重された	693 (20.0)
ある程度された	929 (26.8)
全くされない	396 (11.4)
小計	2,018 (58.2)
無回答	1,447 (41.8)
計	3,465 (100.0)

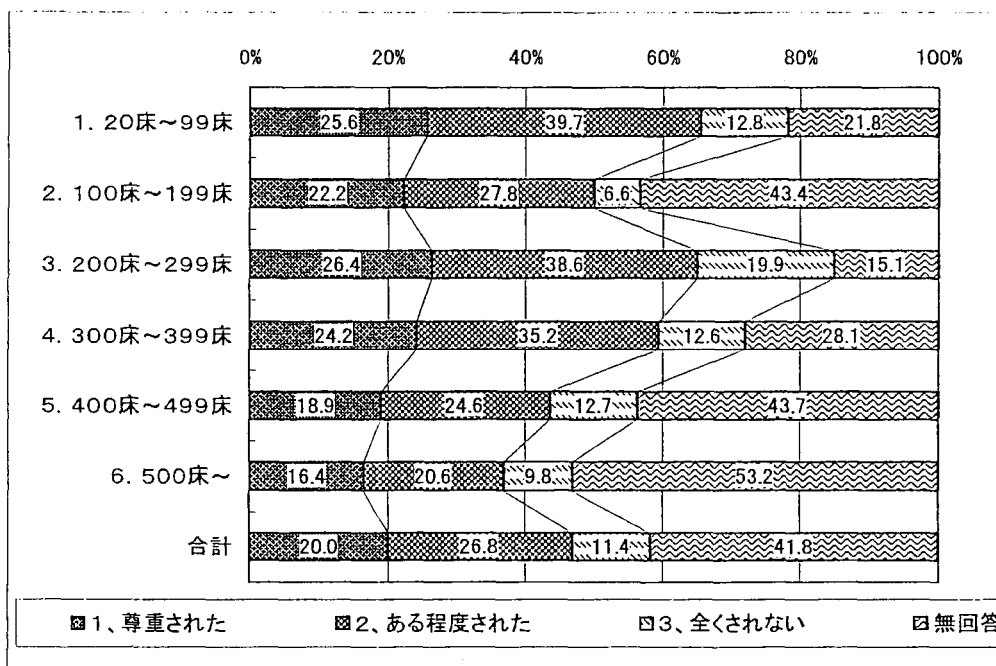


Q. 9で「1. 大学人事」と答えた医師は、自分の意志が「ある程度尊重された」と「尊重された」が約半分あるが、「全くされない」は11.4%あった。無回答の内容については不明であるが、書きにくい事情のある可能性は高い。

クロス集計で、赴任にあたって、病床数が少ない医療機関ほど自分の意志が尊重される傾向が強かった。

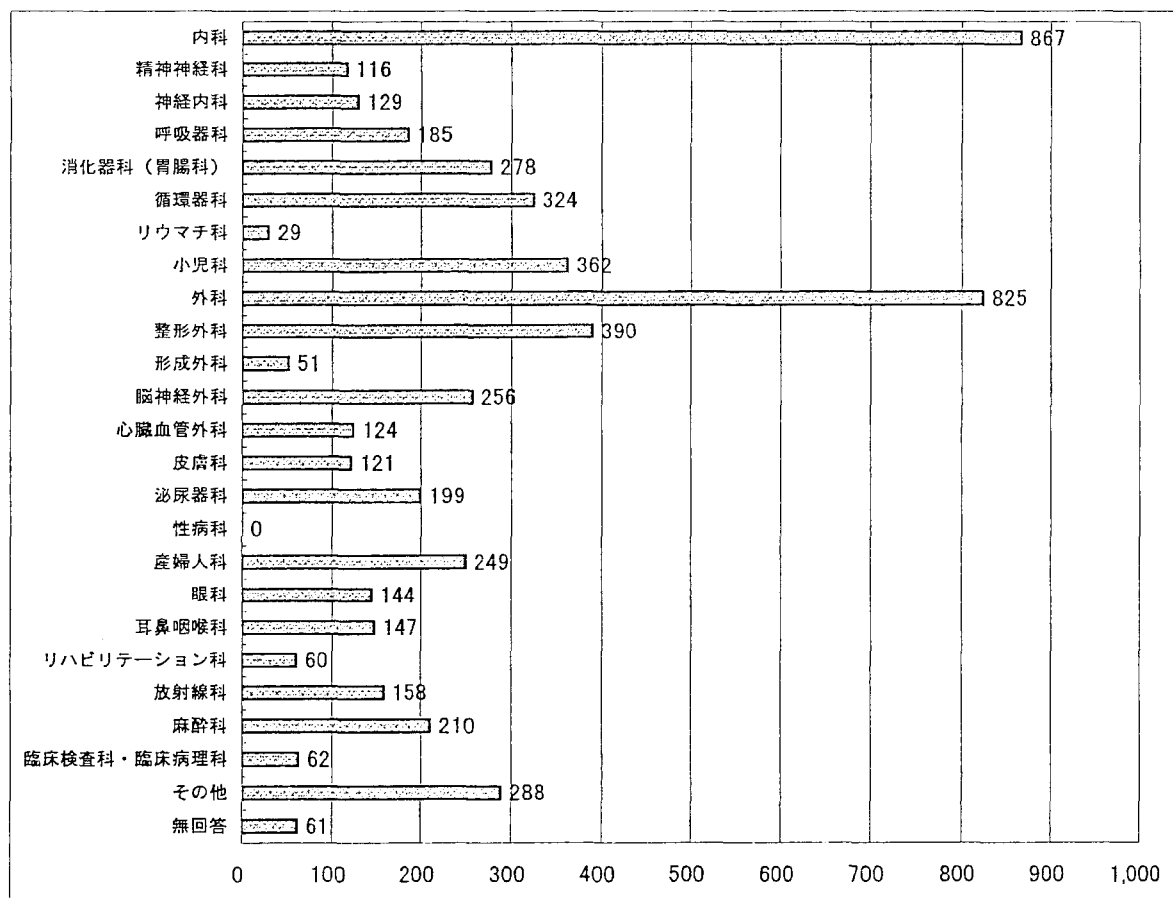
Q5*Q10(人)	Q10: Q9で「1. 大学人事」と答えた方にお尋ねします。自分の意志が尊重されましたか。				
Q5: 勤務先の病床数	1. 尊重され	2. ある程度	3. 全くされ	無回答	合計
1. 20床~99床	20	31	10	17	78
2. 100床~199床	84	105	25	164	378
3. 200床~299床	82	120	62	47	311
4. 300床~399床	156	227	81	181	645
5. 400床~499床	107	139	72	247	565
6. 500床~	244	307	146	791	1488
合計	693	929	396	1447	3465

Q5*Q10(%)	Q10: Q9で「1. 大学人事」と答えた方にお尋ねします。自分の意志が尊重されましたか。				
Q5: 勤務先の病床数	1. 尊重され	2. ある程度	3. 全くされ	無回答	合計
1. 20床~99床	25.6	39.7	12.8	21.8	100.0
2. 100床~199床	22.2	27.8	6.6	43.4	100.0
3. 200床~299床	26.4	38.6	19.9	15.1	100.0
4. 300床~399床	24.2	35.2	12.6	28.1	100.0
5. 400床~499床	18.9	24.6	12.7	43.7	100.0
6. 500床~	16.4	20.6	9.8	53.2	100.0
合計	20.0	26.8	11.4	41.8	100.0



Q11 現在の主たる診療科目又は就業内容は何ですか。(一つだけお答えください)

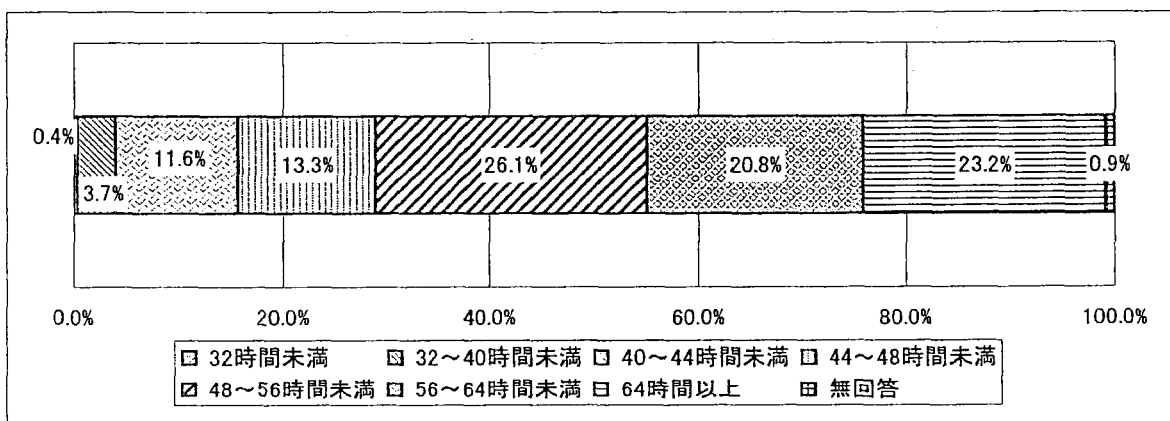
	回答数(%)
内科	867(15.4)
精神神経科	116(2.1)
神経内科	129(2.3)
呼吸器科	185(3.3)
消化器科(胃腸科)	278(4.9)
循環器科	324(5.7)
リウマチ科	29(0.5)
小児科	362(6.4)
外科	825(14.6)
整形外科	390(6.9)
形成外科	51(0.9)
脳神経外科	256(4.5)
心臓血管外科	124(2.2)
皮膚科	121(2.1)
泌尿器科	199(3.5)
性病科	0(0.0)
産婦人科	249(4.4)
眼科	144(2.6)
耳鼻咽喉科	147(2.6)
リハビリテーション科	60(1.1)
放射線科	158(2.8)
麻酔科	210(3.7)
臨床検査科・臨床病理科	62(1.1)
その他	288(5.1)
小計	5,574(98.9)
無回答	61(1.1)
計	5,635(100.0)



現在の主たる診療科目又は就業内容は、「内科」が15.4%、次いで「外科」が14.6%と圧倒的に多く、合わせて30.0%である。

Q12 勤務先での一週間の勤務時間（当直を除く常時の状況でお答えください）

	回答数(%)
32時間未満	20(0.4)
32～40時間未満	209(3.7)
40～44時間未満	656(11.6)
44～48時間未満	751(13.3)
48～56時間未満	1,469(26.1)
56～64時間未満	1,173(20.8)
64時間以上	1,307(23.2)
小計	5,585(99.1)
無回答	50(0.9)
計	5,635(100.0)



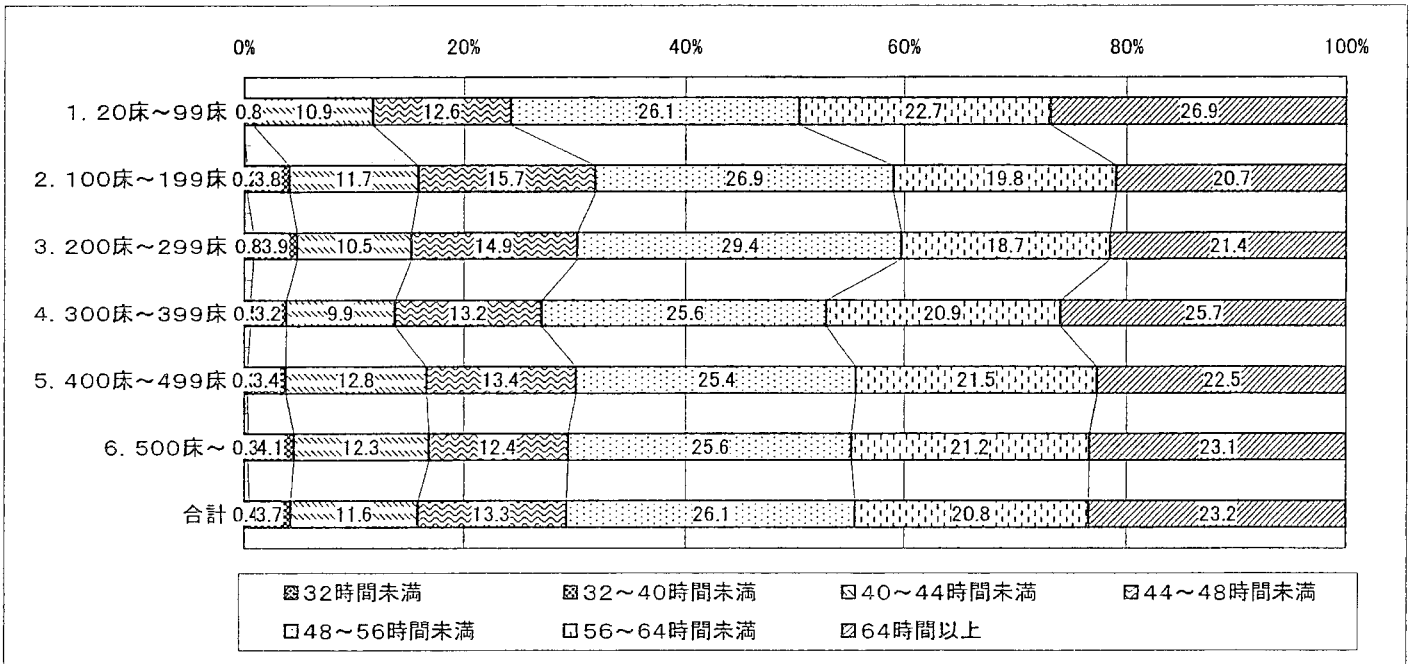
勤務先での一週間の勤務時間は、法定勤務時間内である40時間未満が4.1%のみで「48時間から56時間未満」が26.1%と最も多かった。48時間以上をまとめると70.1%に達していた。しかも56時間以上が44%もあり、過酷な勤務環境が伺われた。

クロス集計からは、99床以下の病院は56時間以上の勤務が最も多い（49.6%）。次いで、比較的回答数が多かった300～399床未満の病院で56時間以上が46.6%と多かった。しかし、年齢による差は見られなかった。

医師が如何に過酷な勤務を強いられているかがよく判る。

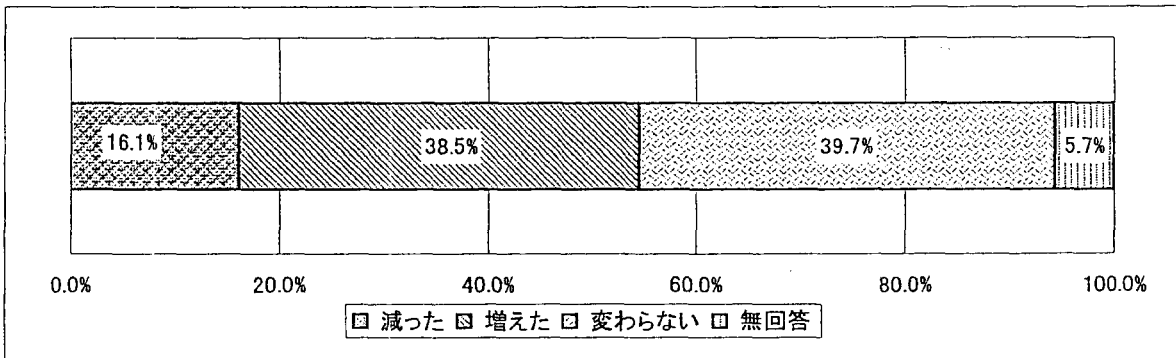
Q5*Q12(人)	Q12:勤務先での一週間の勤務時間								合計ID
Q5:勤務先の病床数	32時間未満	32~40時間	40~44時間	44~48時間	48~56時間	56~64時間	64時間以上	無回答	
1. 20床~99床		1	13	15	31	27	32		119
2. 100床~199床	1	23	71	95	163	120	125	7	605
3. 200床~299床	4	20	54	77	151	96	110	2	514
4. 300床~399床	5	35	108	145	281	229	282	11	1096
5. 400床~499床	3	30	112	118	223	189	198	6	879
6. 500床~	7	100	298	301	620	512	560	24	2422
合計	20	209	656	751	1469	1173	1307	50	5635

Q5*Q12(%)	Q12:勤務先での一週間の勤務時間								合計ID
Q5:勤務先の病床数	32時間未満	32~40時間	40~44時間	44~48時間	48~56時間	56~64時間	64時間以上	無回答	
1. 20床~99床		0.8	10.9	12.6	26.1	22.7	26.9		100.0
2. 100床~199床	0.2	3.8	11.7	15.7	26.9	19.8	20.7	1.2	100.0
3. 200床~299床	0.8	3.9	10.5	14.9	29.4	18.7	21.4	0.4	100.0
4. 300床~399床	0.5	3.2	9.9	13.2	25.6	20.9	25.7	1.0	100.0
5. 400床~499床	0.3	3.4	12.8	13.4	25.4	21.5	22.5	0.7	100.0
6. 500床~	0.3	4.1	12.3	12.4	25.6	21.2	23.1	1.0	100.0
合計	0.4	3.7	11.6	13.3	26.1	20.8	23.2	0.9	100.0



Q13 勤務時間（個人医師）は5年前と較べて変わりましたか。

	回答数(%)
減った	908(16.1)
増えた	2,168(38.5)
変わらない	2,236(39.7)
小計	5,312(94.3)
無回答	323(5.7)
計	5,635(100.0)

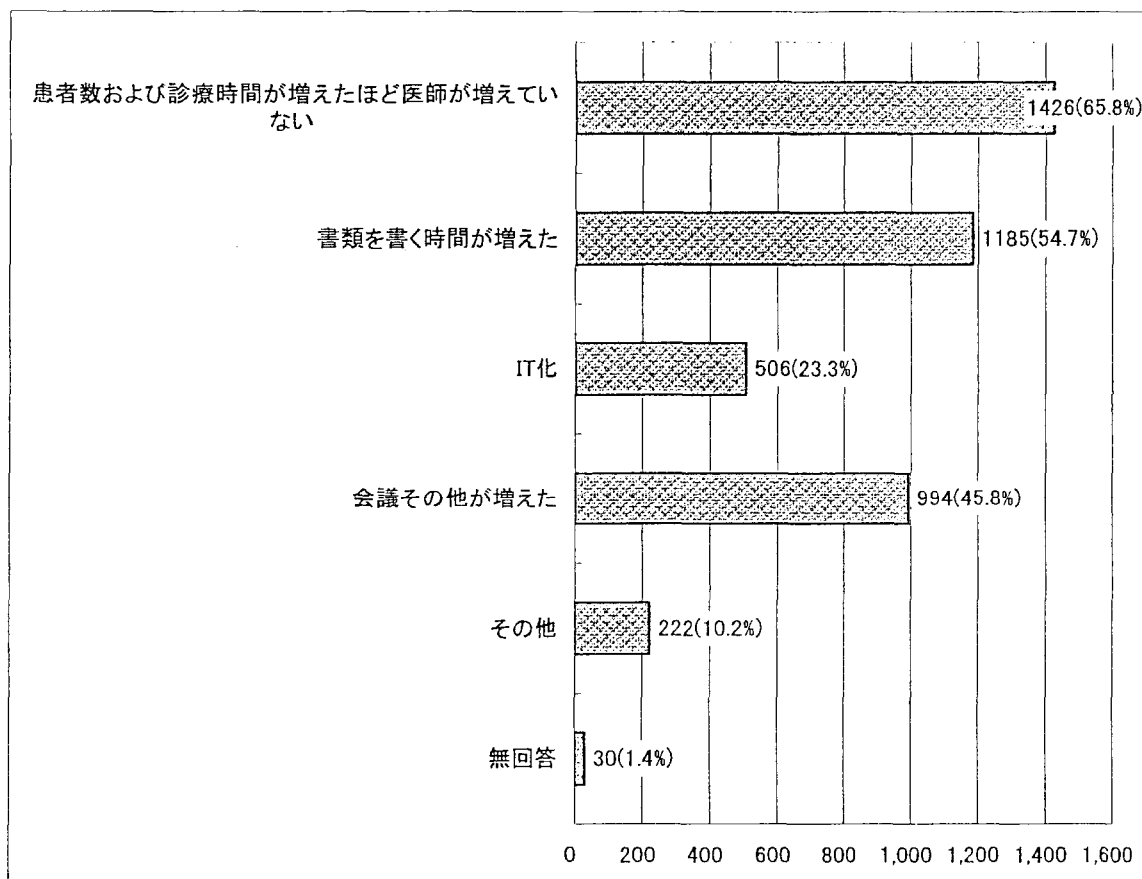


勤務時間（医師個人）を5年前と較べると、「変わらない」が39.7%、「増えた」が38.5%で、ほぼ拮抗している。「減った」は16.1%しかなく改善の傾向にはない。クロス集計からは、病床の多少による差はみられなかった。

Q14 Q13で「増えた」と答えた方にお尋ねします。
 医師の負担が増えた理由は何ですか。

n=2168

	回答数	回答率
患者数および診療時間が増えたほど医師が増えていない	1,426	65.8%
書類を書く時間が増えた	1,185	54.7%
IT化	506	23.3%
会議その他が増えた	994	45.8%
その他	222	10.2%
無回答	30	1.4%



Q. 13で「増えた」と答えた医師にその理由を尋ねると、「患者数および診療時間が増えたほど医師が増えていない」が65.8%と最も多く、次いで「書類を書く時間が増えた」が54.7%、「会議その他が増えた」が45.8%であった。

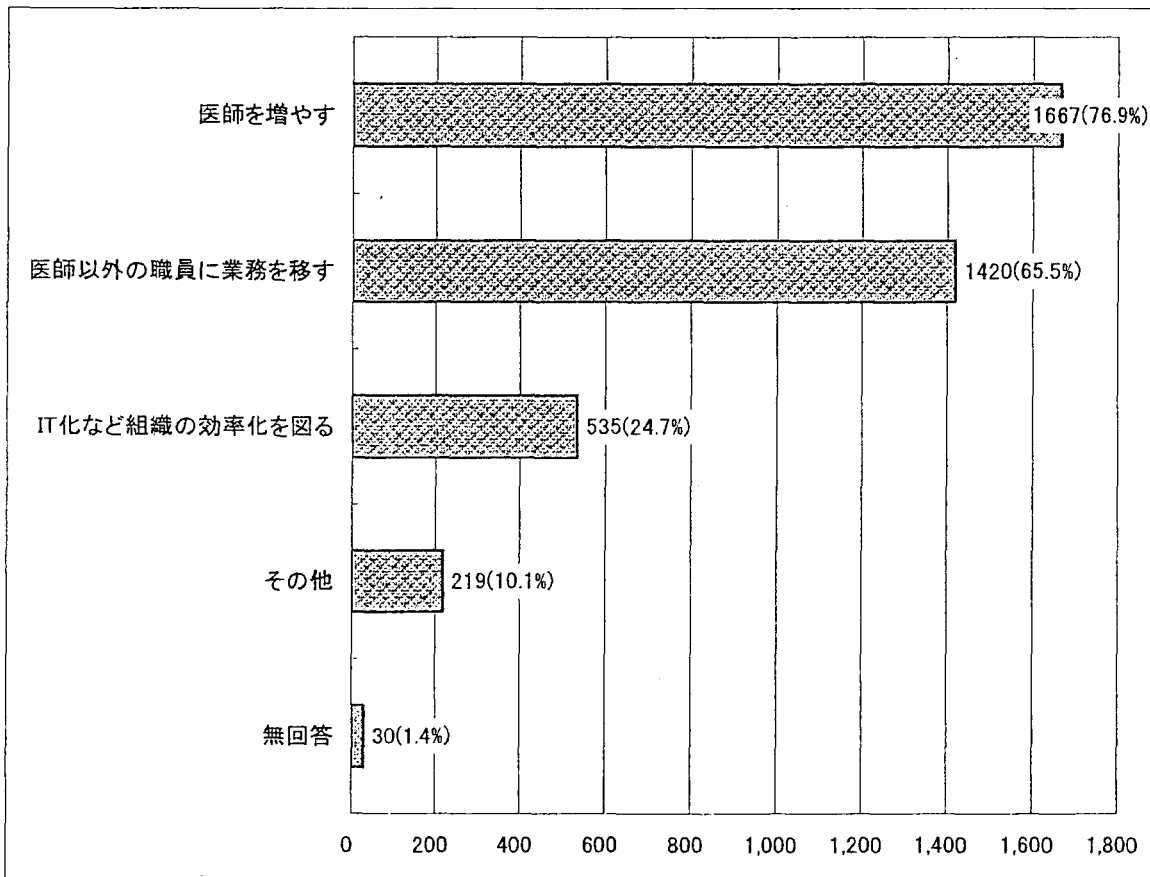
勤務医にはいろんな面から多くの負担がのしかかっている。

クロス集計からは、役職者と医員、病床の多少による差はみられなかった。

Q15 Q13で「増えた」と答えた方にお尋ねします。
 医師の負担を減らすにはどうしたらよいですか（複数回答可）

n=2168

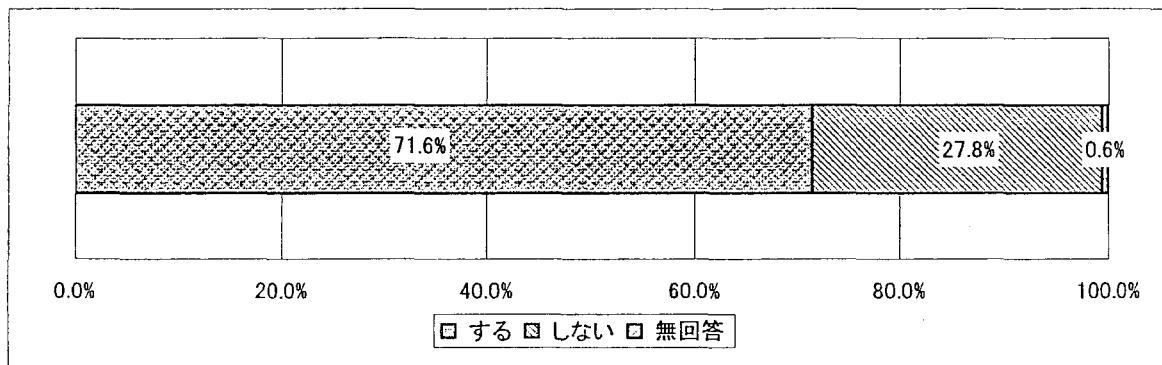
	回答数	回答率
医師を増やす	1,667	76.9%
医師以外の職員に業務を移す	1,420	65.5%
IT化など組織の効率化を図る	535	24.7%
その他	219	10.1%
無回答	30	1.4%



Q. 13で「増えた」と答えた医師にその負担を減らす方策を尋ねると、「医師を増やす」が76.9%、「医師以外の職員に業務を移す」が65.5%、いずれも過半数を占めていた。

Q16 あなたは「夜間当直」をされますか。

	回答数(%)
する	4034 (71.6)
しない	1569 (27.8)
小計	5,603 (99.4)
無回答	32 (0.6)
計	5,635 (100.0)



夜間当直は、「する」が71.6%、「しない」が27.8%であった。
 クロス集計からは、役職者、医員、および病床の多少による差はみられなかった。診療科は、脳神経外科、循環器科、呼吸器科が多かった。